

金属箔の回収および測定

金属箔等の種類と大きさ

(小型) 金、コバルト、ニッケル、鉄
直径約 1 cm、厚さ約 0.1~1mm

(大型) 金
直径約 5 cm、厚さ約 0.1mm

箇所・個数

設置箇所	計画停止時		継続設置 個数
	回収	取付	
原子炉上部(小型)	-	-	12
原子炉側部(小型)	-	-	12
原子炉側部(大型)	30	-	0
原子炉建屋内(大型)	45	57	57
タービン建屋内(大型)	20	5	5
原子炉補助建屋(大型)	-	9	9

測定方法

各箇所に設置した金属箔は、運転中の中性子照射を受けて放射化する。

その金属箔を回収し、金属箔中の放射エネルギーを測定することにより、原子炉運転中の中性子束分布を求める。

コンクリートのサンプリング調査

○調査箇所

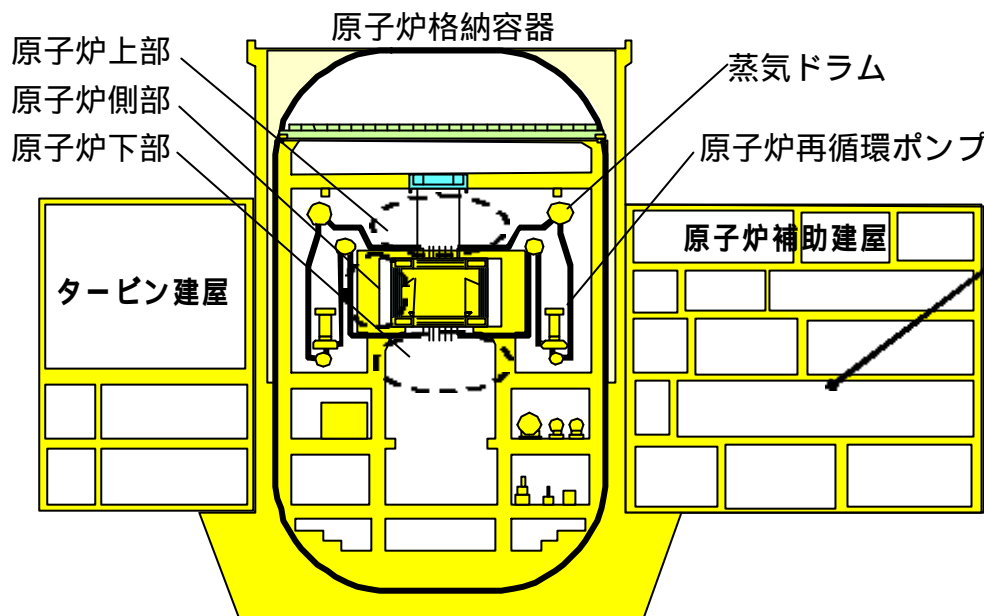
- ・原子炉補助建屋地下2階の壁、床計2箇所(2サツプル)
- ・原子炉補助建屋地下1階の壁、床計2箇所(2サツプル)
- ・原子炉補助建屋地上1階の壁、床計2箇所(2サツプル)

○測定方法

コンクリート中に含まれるトリチウムの量を測定する。

○サンプリング方法

- ボーリングによるサンプリング
- ・ボーリング仕様
直径約 7cm
深さ約 30cm 6サツプル



		平成 10 年度	平成 11 年度	平成 12 年度	平成 13 年度	平成 14 年度
運転計画		第15回定検		計画停止	第16回定検	計画停止
金属箔	取り付け	[Bar]		[Bar]	[Bar]	[Bar]
	取り外し	[Bar]		[Bar]	[Bar]	[Bar]
コンクリートのサンプリング		[Bar]		[Bar]	[Bar]	[Bar]

*1: 金属箔の取り付けについては、取り外した金属箔の測定結果に基づき検討する予定。

図 - 1 蓄積放射エネルギーの調査概要図 (平成 14 年度計画停止終了時)